



たばこ火災にご注意を！

安全・安心まちづくり
青森地域広域
事務組合消防本部

電子たばこの普及により、たばこによる火災が減少傾向ではありますが、依然たばこが原因による火災があとを絶ちません。令和元年全国の火災原因の第1位がたばこ(9.5%)であり、そのほとんどは不始末が原因です。

◆事例1

寝たばこしているうちに火種が布団の上に落下、就寝後に煙たくなり目を覚ますと布団が燃えていた。

火災被害 寝室の床と布団が焼損

※ポイント

たばこの性質として、布団の上に火種が落ちてもすぐに着火しません。煙りながら燃える無炎燃焼(火が見えない燃焼)を続けたのちに、可燃物が触れると炎が発生し燃え広がります。



◆事例2

出勤前にたばこを吸い、急いでいたため水につけるなどの処理をしないでゴミ箱に投げ入れ外出し、1時間後に出火。通行人が発見し消防に通報した。

火災被害 アパートの壁が一部焼損

※ポイント

たばこはもみ消したつもりでも、火種が残っている場合があります。

◆事例3

ガラス製の灰皿に吸殻が山盛りになったまま放置していたところ、火種が残っていたため、灰皿が割れ、たばこが周囲に飛び散ってカーペットが焼損した。

火災被害 居間のカーペット

※ポイント

灰皿にたばこの吸殻を山盛りにしていると、たばこをもみ消した際に、火種が内部に蓄積されて他のたばこに燃え移り、温度差によってガラス製の灰皿が割れることがあります。



○類似火災防止のために・・・

- 1 灰皿には水を入れて使用する。
- 2 灰皿はこまめに清掃する。
- 3 寝たばこは絶対にしない。
- 4 たばこのポイ捨ては絶対にしない。
- 5 外出するときは、たばこを水につけるなどの処理をする。

たばこの怖いところは、すぐに火が出ないところ
しっかりとした処理をするように心がけよう！

